

## **(その130) 人と人とのつながりで困難な相談が解決しました (2016.7 発行)**

5月中旬ごろ貝塚のEさんから「アパートの部屋が空いたので入る人を紹介してほしい。また、リホームにあまりお金をかけたくないので所長の知人でいませんか」と相談センターに話がありました。

5月下旬、日進町に住むMさんから「住んでる家が競売になり6月中旬までアパートを探さなければならぬどこかないでしょうか」と相談センターに見えました。所長はその足でMさん夫婦をKさんのアパートに案内したところMさんはとても気に入っていただきその場で話がまとまりました。リホームも知り合いの業者を紹介しとても安くしていただいたと感謝されました。

### **苦労しました部屋の後かたづけと処分費用**

Mさんは6月9日に無事引っ越しができましたが、いらなくなった家具や電気製品などがたくさん残りこれをきれいに処分しないと6月10日に競売の決済ができない、とMさんと仲介業者の不動産屋から泣きつかれた所長は、仕事は知り合いの「片付け隊」に頼み、産廃の処分費用はお金ができるまで待ってもらい、処分費用を出してもらうために仲介した不動産屋さんと粘り強く交渉しました。

交渉の中身は「残材がたくさん出たのは息子夫婦を先に引っ越しさせたことによるもので見積もり違いが出たのは後に引っ越したMさんの責任ではなく仲介した人が責任を取るべきではないか」との話で納得してもらい6月11日に全ての支払いが終わりました。

全てうまくまとまったのはEさん、Mさん、リホーム業者、片付け隊の皆さんすべて所長の知り合いだったことです。

仲介業者さんからも「手早くまとめていただいて予定通り決済できたのは相談センターのおかげです」と感謝されました。